



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月11日

上場会社名 株式会社ヒマラヤ 上場取引所 東 名
コード番号 7514 URL <https://www.hmry.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小森 裕作
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 三井 宣明 TEL 058-271-6622
四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 2023年5月15日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	29,406	4.1	1,021	△10.7	1,080	△19.4	831	3.5
2022年8月期第2四半期	28,238	—	1,144	34.2	1,341	40.6	803	38.9

(注) 包括利益 2023年8月期第2四半期 834百万円 (5.0%) 2022年8月期第2四半期 794百万円 (60.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	67.74	—
2022年8月期第2四半期	65.48	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を前連結会計年度の期首から適用しております。

売上高については、当該会計基準を適用後の数値となっており、2022年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	37,363	16,845	45.1
2022年8月期	38,260	16,177	42.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 16,845百万円 2022年8月期 16,177百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	10.00	—	15.00	25.00
2023年8月期	—	13.00	—	—	—
2023年8月期（予想）	—	—	—	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2022年8月期 期末配当金の内訳 普通配当 13円00銭 配当記念 2円00銭

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	59,500	1.0	2,200	7.8	2,400	1.4	1,480	3.4	120.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期2Q	12,320,787株	2022年8月期	12,320,787株
② 期末自己株式数	2023年8月期2Q	33,793株	2022年8月期	65,183株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期2Q	12,271,299株	2022年8月期2Q	12,271,357株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

※ 決算補足説明資料の入手方法

決算補足説明資料は当社ウェブサイトに掲載する予定です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2022年9月1日～2023年2月28日)における我が国の経済は、行動制限や海外渡航制限の緩和が進んだことにより、社会活動に改善の兆しが見られました。一方、不安定な海外情勢の継続、世界的な金融引き締めに伴う為替の変動などにより、物品・サービスの値上げの傾向が顕著となり、今後の国内経済の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社グループが属しておりますスポーツ用品販売業界におきましては、社会活動の正常化が進むとともに、スポーツ活動への制限も軽減されておりますが、物価上昇による消費の落込みやコスト上昇の影響が顕在化しております。また、天候については、冬場の降雪には恵まれたものの、気温の変動幅が大きかったことなどから、防寒系衣料を中心にアパレルへの需要が高まりにくい環境となりました。

このような状況のもと、当社グループでは、新規出店、主力の既存店舗のリニューアル等、中長期的な視点に立ったリアル店舗の販売基盤の強化に取り組んでまいりました。特に、最大の拠点である岐阜市江添は、スポーツ本館の全面リニューアル、アウトドア専門店の新設により、既存のゴルフ本店と合わせて国内最大級の規模の体験型スポーツショップエリアとなりました。また、西日本エリアにおける旗艦店の八幡西店の全面リニューアルやゴルフ専門店の出店を行う等、中期経営計画の重点戦略も着実に実行してまいりました。加えて、不確実性の高い環境に対応するためのデジタル領域強化やEC事業拡大のための施策につきましては、優先順位を高めて注力しております。

売上高は改装店、新店ともに好調な滑り出しとなり、既存店も堅調に推移し、EC事業においても、販売力強化に努めたことにより、前年同期を上回る結果となりました。

商品別の売上動向としては、一般スポーツ用品は、部活動をはじめとする様々なスポーツ活動の正常化による市場回復が進んでおります。また、アウトドア用品はアウトドアアパレルやトレッキング需要が高い水準を維持しており、ゴルフ用についても活況な市場環境が継続しており、それぞれ好調に推移しました。スキー・スノーボード用品は降雪に恵まれたシーズンとなったことから、前年に引き続き好調な推移となりました。一方、売上総利益率は、気温動向の影響を受けたアパレル、需給バランスの調整段階にあるキャンプ用品の在庫削減を進めたことにより、低下いたしました。

販売費及び一般管理費については、新店出店、既存店舗の大規模リニューアルに関連する費用負担に加えて、リアル店舗の光熱費を始めとするコスト上昇の影響を受けながらも、経費の削減活動に努めてまいりました。

出退店の状況については2店舗を出店、2店舗を退店いたしました。2023年2月末時点で当社グループの店舗数は全国で95店舗、売場面積は207,834㎡であり、前年同期比で店舗数は2店舗減、売場面積は1,313㎡減となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における連結業績は売上高29,406百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益1,021百万円(前年同期比10.7%減)、経常利益1,080百万円(前年同期比19.4%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益831百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は25,599百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,606百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1,402百万円減少したことによるものであります。固定資産は11,764百万円となり、前連結会計年度末に比べ710百万円増加いたしました。これは主に建物及び構築物が1,049百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は37,363百万円となり、前連結会計年度末に比べ896百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は15,082百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円減少いたしました。これは主に一年内返済長期借入金が165百万円減少したことによるものであります。固定負債は5,435百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,293百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が1,259百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は20,518百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,564百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は16,845百万円となり、前連結会計年度末に比べ667百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が633百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は45.1%(前連結会計年度末は42.3%)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」とする）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,402百万円減少し、8,274百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1,162百万円（前年同期は1,141百万円の増加）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益を1,185百万円計上したことおよび仕入債務の増加331百万円により資金が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は956百万円（前年同期は260百万円の減少）となりました。これは主に投資有価証券の売却による収入324百万円により資金が増加した一方、有形固定資産の取得による支出1,244百万円および差入保証金の支出64百万円により資金が減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は1,608百万円（前年同期は2,068百万円の減少）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1,424百万円により資金が減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の連結業績予想につきましては、現在のところ、2022年9月27日に発表いたしました業績予想を据え置いております。今後、業績予想を修正する必要がある場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,676	8,274
売掛金	1,750	1,627
商品	14,753	14,866
貯蔵品	11	8
その他	1,013	823
流動資産合計	27,206	25,599
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,376	4,425
土地	1,388	1,388
リース資産	—	4
建設仮勘定	471	7
その他(純額)	264	561
有形固定資産合計	5,501	6,388
無形固定資産		
ソフトウェア	272	212
その他	63	139
無形固定資産合計	335	352
投資その他の資産		
投資有価証券	1,189	1,031
長期貸付金	448	417
差入保証金	2,820	2,805
繰延税金資産	235	235
退職給付に係る資産	329	318
その他	207	228
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	5,216	5,023
固定資産合計	11,053	11,764
資産合計	38,260	37,363

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,129	10,460
1年内返済予定の長期借入金	2,696	2,531
リース債務	—	1
未払法人税等	426	398
賞与引当金	409	337
店舗閉鎖損失引当金	39	23
株主優待引当金	70	62
資産除去債務	7	15
その他	1,574	1,252
流動負債合計	15,353	15,082
固定負債		
長期借入金	5,534	4,274
リース債務	—	3
資産除去債務	834	834
その他	360	322
固定負債合計	6,728	5,435
負債合計	22,082	20,518
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,544	2,544
資本剰余金	3,998	3,998
利益剰余金	9,604	10,237
自己株式	△65	△34
株主資本合計	16,081	16,745
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△88	△46
繰延ヘッジ損益	3	0
退職給付に係る調整累計額	181	146
その他の包括利益累計額合計	96	99
純資産合計	16,177	16,845
負債純資産合計	38,260	37,363

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	28,238	29,406
売上原価	17,711	18,650
売上総利益	10,527	10,756
販売費及び一般管理費	9,382	9,735
営業利益	1,144	1,021
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	15	18
仕入割引	6	4
受取賃貸料	68	64
協賛金収入	18	18
助成金収入	77	3
システム導入負担金	60	—
その他	32	27
営業外収益合計	283	139
営業外費用		
支払利息	14	10
不動産賃貸費用	64	62
その他	8	7
営業外費用合計	86	79
経常利益	1,341	1,080
特別利益		
固定資産売却益	4	—
投資有価証券売却益	0	174
特別利益合計	5	174
特別損失		
減損損失	8	12
店舗閉鎖損失引当金繰入額	82	14
投資有価証券売却損	—	33
投資有価証券評価損	6	1
貸倒引当金繰入額	3	—
保険解約損	—	8
特別損失合計	100	69
税金等調整前四半期純利益	1,246	1,185
法人税、住民税及び事業税	352	338
法人税等調整額	90	15
法人税等合計	442	354
四半期純利益	803	831
親会社株主に帰属する四半期純利益	803	831

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
四半期純利益	803	831
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	41
繰延ヘッジ損益	4	△3
退職給付に係る調整額	△22	△34
その他の包括利益合計	△9	3
四半期包括利益	794	834
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	794	834
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,246	1,185
減価償却費	280	312
減損損失	8	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△153	△72
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	75	△15
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	9	△8
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△37	△38
受取利息及び受取配当金	△19	△21
支払利息	14	10
投資有価証券売却損益 (△は益)	△0	△141
売上債権の増減額 (△は増加)	114	123
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,037	△109
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,530	331
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△317	107
その他	△251	△252
小計	1,464	1,424
利息及び配当金の受取額	15	18
利息の支払額	△13	△9
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△324	△270
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,141	1,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△115	△1,244
有形固定資産の売却による収入	4	—
投資有価証券の取得による支出	△26	△10
投資有価証券の売却による収入	15	324
保険積立金の解約による収入	—	19
敷金及び保証金の差入による支出	△120	△64
敷金及び保証金の回収による収入	1	103
その他	△18	△82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260	△956
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,782	△1,424
配当金の支払額	△184	△183
その他	△101	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,068	△1,608
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,187	△1,402
現金及び現金同等物の期首残高	13,753	9,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,566	8,274

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。